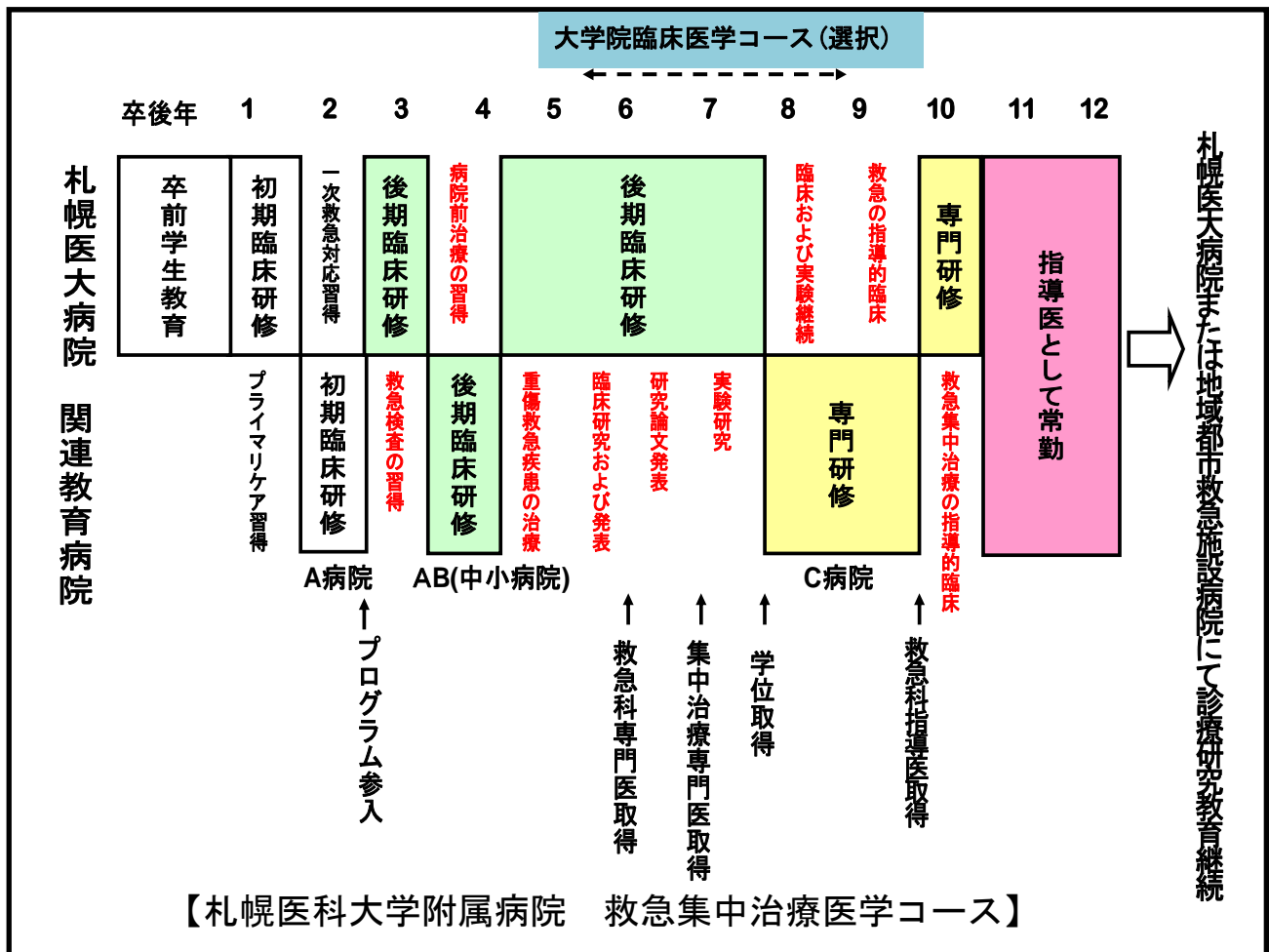


救急集中治療部

救急集中治療医学コース

(1) コースの全体像

- ① 初期研修は、救急医学との関連性を意識し望むことが有益なため、1年目に札幌医科大学附属病院での救急集中治療医学を数ヶ月経験することを推奨。
- ② 3、4年目は救急集中治療医学の基本的初期治療法を習得。3年目は大学病院で多数の指導医に付き添い症例を経験し、基本的救急疾患の初期治療に対し自立したレベルに到達。4年目は他救急併設病院で主治医として一例毎により深い診療経験を積みレベルアップ。
- ③ 5年目は札幌医科大学附属病院で救急集中治療医として院内（救命センター夜勤）院外（Dr.カー、Dr.ヘリ等）救急診療を責任者として担当可能なレベルに到達。
- ④ その後1-2年の間に救急科及び集中治療科の専門医を取得。希望者は大学院臨床医学コースに入り臨床研究を併行し学位も取得。
- ⑤ 続いて大学病院で救急集中治療医学全般のスキルアップと共に興味ある救急集中治療分野の先端治療を目指す。卒後10年目以降から救急科指導医を取得。
・6年目以降は他コースの一部も選択可。



(2) コースの概要

コース名： 札幌医科大学附属病院 救急集中治療医学コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
札幌医科大学附属病院	救急集中治療部	救急医学 集中治療医学	15	高度救命救急センターにて重症救急症例全般に渡る治療。ドクターヘリ等を含めた病院前治療の研修。救命センターおよび院内の集中治療室による重症例に対する集中治療。	10	3～10年
市立函館病院	救命救急センター	救急医学	3	1次から3次救急までの広範な症例の治療。	4	1～3年
手稲溪仁会病院	救命救急センター	救急医学	3	1次から3次救急までの広範な症例の治療。	2	1～3年

(3) コースの実績

日本救急医学会指導医専門医認定施設、日本集中治療医学会専門医認定施設である。現在まで専門医取得に必要な期間研修を受け受験した全員が救急科および集中治療専門医を取得している。日本救急医学会が認定する指導医においても他大学に比して多くの取得者を要している。本邦での救命センター長は救急医学会認定の指導医が望ましいとされており、日本で最年少の救命センター長も教室から輩出している。

(4) コースの指導状況

教室には救急医学会指導医5名、専門医10名、集中治療専門医5名の他、高度救命救急センターには麻酔科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、循環器科の各科専門医が常時在籍して全身の疾患および外傷に対する指導がなされている。急性期治療が教室内で多くの症例で完結するため救急処置室、手術室、集中治療室までの治療が連続的に研修できる環境となっている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本救急医学会
資格名	救急科専門医
資格要件	5年以上の臨床経験と3年以上の専門医指定施設での救急部門の専従医としての臨床修練。記録および業績の提出と専門医筆記試験により可否。
学会の連携等の概要 当該学会主催の年次講習会及び専門医部会教育セミナーに積極的に参加し教室での取り組みを発表報告するとともに専門的知識を習得する。	

学会等名	日本集中治療医学会
資格名	集中治療専門医
資格要件	専門医研修施設での5年以上の専従歴。業績の提出と専門医筆記試験により可否。

学会の連携等の概要

当該学会主催の年次講習会及び専門医部会教育セミナーに積極的に参加し教室での取り組みを発表報告するとともに専門的知識を習得する。